

研究講習事業報告

学発番号： 学18-030

事業名： 臨床化学免疫血清研修会

日時： 平成30年9月25日(火)18:30～20:00

場所： 京都保健衛生専門学校 視聴覚教室

主題1： 『臨床化学の基礎固め』

講師1： 宿屋 敬 氏(株式会社カイノス 営業本部 学術部学術課)

参加数： 総数 9名(京臨技会員： 8名)

報告者： 岡崎一幸(京都大学医学部附属病院検査部)

以下、講演内容など

今回は、「臨床化学の基礎固め」と題しまして、総蛋白(TP)、アルブミン(ALB)について講義していただきました。ALB測定には、BCG法、BCP法、BCP改良法があり、それぞれ特性が異なるため、測定結果に影響が出るということについて、説明がありました。

また、方法により検査値が違うことで起こる数値の整合性について「BCG法=BCP改良法+0.3」(ただしBCP改良法で3.5g/dL以下の場合)が紹介されました。TP、ALBのようなスタンダードな項目は普段詳しく聞くことが出来ないことが多いため今回の研修会は今後の業務に大変有益だと感じました。